

1. 授業の概要(ねらい)

発達には、その研究スタイル、研究者ごとにさまざまな捉え方がなされている。その中でも、生涯発達とは、身体が大きくなったり、その働きが力強くなったり精密になったりといった、誕生から死までの時間の経過の中で生ずる心身の形態・機能の変化という捉え方をいう。ここでは、乳幼児期における認知、言語、社会性といった各領域での質的・量的な変化について、研究成果をまじえながら、学ぶことをねらいとする。

2. 授業の到達目標

自ら関心を抱いたテーマについて、主体的に調べ、自分の意見・考えをまとめて発表する力、自分の意見を述べ、他者の意見をきき、より深く関連づけて理解する力を養うことをめざす。

3. 成績評価の方法および基準

授業内の発表やコメントにて総合評価を行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

発表には十全な準備をしたうえで、のぞむことが求められる。

6. その他履修上の注意事項

発表では、十全な準備をすることが求められる。また、ディスカッションの際には積極的に意見を述べることが望まれる。なお、授業計画は、進行状況に合わせて適宜修正される。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 発表について
- 【第3回】 文献の検索/グループ作業など
- 【第4回】 グループ討議他
- 【第5回】 発達の可塑性について理解を深める
- 【第6回】 自己意識・社会性・情動の発達について理解を深める
- 【第7回】 象徴機能の成立について理解を深める
- 【第8回】 言語・会話の発達について理解を深める
- 【第9回】 記憶・想起する力の発達について理解を深める
- 【第10回】 自己と他者についての理解を深める
- 【第11回】 遊びの発達と学びについて理解を深める
- 【第12回】 論理的思考の発達について理解を深める
- 【第13回】 生活世界から学びの世界へ
- 【第14回】 グループ討議
- 【第15回】 まとめ